

令和 7 年度 (2025 年度) 用

中学校国語科用

---

# 「新編 新しい国語」 年間指導計画作成資料












---

## ④ 年間指導計画例【2年】

令和 7 年 (2025 年) 1 月 29 日版

東京書籍

## 【2年】

領域〈系統〉・教材名／ ページ数・配当時数／ 未来への扉・ 他教科との関連	学習目標・ 学習指導要領との対応 (  は重点)	学習活動例 (*は指導上の留意点や別案)	評価規準例 (  は重点)
(4月 1時間)			
読む〈詩(巻頭詩)〉 未来へ 巻頭 1時間	・詩に描かれていることを解釈し、読み方を工夫して音読する。  【思判表】C(1)   C(2)イ	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。 2 比喩的な表現も含めて、各連で表されている時の流れに注意して詩の意味を捉え、読み方を工夫して音読する。   「作者の言葉(動画)」	【思判表】「読むこと」において、詩に描かれた言葉の意味などについて考え、内容を解釈している。 【主】進んで各連に描かれていることを手がかりに詩の意味を考え、学習課題に沿って、工夫して音読しようとしている。
(4月 2時間)			
読む〈言葉の学習〉 あの夕暮れへ帰る P16 2時間	・読み取ったことを踏まえ、自分の知識や経験も交えて、考えを広げる。  【知技】(1)エ 【思判表】C(1)   C(2)イ	1 タイトル下の問いかけを確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 「日脚」という言葉やモネの絵から筆者が感じ取ったことを捉え、自分の知識や経験を交えて、考えたことを話し合う。   「筆者の言葉(動画)」など	【知技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで自分の知識や体験と結び付けて筆者の考えを捉え、学習課題に沿って、自分の考えを話し合おうとしている。
1 言葉を感じる(4～5月 8時間)			
読む〈言語感覚〉 短歌を楽しむ／短歌五首 P20 2時間   未来伝統と文化	・文章の内容を踏まえて、短歌を解釈する。 ・短歌を鑑賞して理解したことをもとに、自分の考えをまとめる。  【知技】(1)エ 【思判表】C(1)  イオ  C(2)イ	1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 「つかむ」の設問①に取り組み、3首の短歌について情景や心情を想像しながら、音読する。 4 「読み深める」の設問②に取り組み、「短歌五首」のそれぞれの歌に詠まれている情景や心情を想像しな	【知技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】「読むこと」において、短歌に詠まれた情景や心情を想像して、内容を解釈している。 【思判表】「読むこと」におい

		<p>がら、短歌を暗唱する。</p> <p>5 「考えを持つ」の設問③に取り組み、「短歌五首」（あるいは、「扉の短歌八首」を加えた13首）から1首を選び、鑑賞したことをまとめる。</p> <p><b>言葉の力</b> 短歌の鑑賞</p> <p>6 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習で生かしたいことを考える。</p> <p><b>QR</b>「記念館」など</p>	<p>て、短歌を鑑賞して理解したことをもとに、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p><b>[主]</b> 進んで短歌に詠まれた情景や心情を想像し、学習課題に沿って、短歌を鑑賞して理解したことをもとに、自分の考えをまとめようとしている。</p>
<p>書く〈詩歌創作〉 短歌の創作</p> <p>P 25 3 時間</p> <p><b>未来</b> 伝統と文化</p>	<p>・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、短歌を創作する。</p> <p><b>[思判表]</b> B(1)エ ⑤ B(2)ウ</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～③に取り組み、表現を工夫して短歌を作る。</p> <p><b>言葉の力</b> 短歌の表現の工夫</p> <p>3 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習や生活で生かしたいことを考える。</p> <p><b>QR</b>「活動の具体例」など</p>	<p><b>[思判表]</b>「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、短歌を創作している。</p> <p><b>[主]</b> 表現を工夫することに粘り強く取り組み、学習課題に沿って短歌を創作しようとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 同訓異字</p> <p>P 28 1 時間</p>	<p>・同訓異字について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p><b>[知技]</b> (1)ウエ</p>	<p>1 「用言の同訓異字」を読んで、動詞には同訓異字が多くあることを知り、「問題」①～②に取り組む。</p> <p>2 「体言の同訓異字」を読んで、体言にも同訓異字があることを知り、「問題」③に取り組む。</p>	<p><b>[知技]</b> 同訓異字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p><b>[知技]</b> 同訓異字について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p><b>[主]</b> 進んで同訓異字について理解し、見通しを持って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>言葉〈文法の窓／文法解説〉 活用のない自立語——単語の区別で絵を塗ろう</p> <p>P 30／P 226 2 時間</p>	<p>・活用のない自立語について理解する。</p> <p><b>[知技]</b> (1)オ</p>	<p>1 教材（P 30）を読んで、単語を5種類に分類する。適宜、漢字を確認する。</p> <p>2 「活用のない自立語」（P 226）を読んで、5種類の活用のない自立語について理解を深める。また、「問題」①～④に取り組む。</p> <p><b>QR</b>「文法ゲーム」など</p>	<p><b>[知技]</b> 活用のない自立語について理解している。</p> <p><b>[主]</b> 進んで活用のない自立語について理解し、学習課題に沿って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
2 作品を読み解く（5～6月 10時間）			
<p>読む〈文学1〉 足跡</p> <p>P 32 4 時間</p>	<p>・全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉える。</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認す</p>	<p><b>[知技]</b> 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解</p>

<p>未来 自己と他者</p>	<p>・作品を読んで考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。</p> <p>【知技】(1)エ 【思判表】C(1)アオ ⑤ C(2)イ</p>	<p>る。</p> <p>3 「つかむ」の設問①～②に取り組み、人物と場面の設定を捉える。</p> <p>言葉の力 作品の設定</p> <p>4 「読み深める」の設問③に取り組み、人物の心情を想像する。</p> <p>5 「考えを持つ」の設問④に取り組み、作品の結末について話し合う。</p> <p>6 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習で生かしたいことを考える。</p> <p>7 「広がる言葉」に取り組み、語感を磨き語彙を増やす。</p> <p>QR 「作者の言葉（動画）」など</p>	<p>し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えている。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章を読んで考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主】進んで登場人物の設定を捉え、学習課題に沿って、作品を読んで考えたことを知識や経験と結び付けようとしている。</p>
<p>学びを支える言葉の力 〈対話の学び〉 異なる考えの聞き方 P 46 1 時間</p>	<p>・相手の考えを検討しながら、自分の考えを深める。</p> <p>【思判表】A(1)エ</p>	<p>1 「考えよう」と一コマ漫画を読んで、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 「1 相手の立場に立って考える」を読んで、自分と相手の考えが異なるときの話の聞き方について理解を深め、相手の立場に立って考える。</p> <p>3 「2 相手の考えを理解する」を読んで、相手の考えを理解するにはどうすればよいかについて理解を深め、根拠を尋ねて、相手の考えを理解する。</p> <p>4 「3 相手の考えを検討し、自分の考えを深める」を読んで、相手の考えの検討の仕方について理解を深め、多様な考えに触れて、自分の考えを深める。</p> <p>*後の「意見と根拠の聞き方」と併せて学ぶとよい。</p> <p>QR 「考えよう（動画）」など</p>	<p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において、相手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。</p> <p>【主】進んで相手の考えの検討の仕方を理解し、学習課題に沿って、相手の考えを検討しながら、自分の考えを深めようとしている。</p>
<p>話す・聞く〈聞く〉 意見と根拠の聞き方 P 48 2 時間</p> <p>未来 地球環境／学校・社会</p>	<p>・論理の展開に注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。</p> <p>【知技】(2)ア 【思判表】A(1)エ ⑤ A(2)ア</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～②に取り組み、話し手の考えの聞き方を確認する。</p> <p>言葉の力 話し手の考えとの比較</p> <p>3 手順①～②に従って「問題」に取り組み、論理の展開や、話し手の意見とその根拠に注意して話を聞き、自分の考えをまとめる。</p> <p>4 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習や生活で生</p>	<p>【知技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【思判表】「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。</p> <p>【主】進んで論理の展開に注意して話を聞き、学習課題に沿って、話し手の考えと比較し</p>

		<p>かしたいことを考える。 *前の「異なる考えの聞き方」と併せて学ぶとよい。</p> <p>QR「例題（動画）」など</p>	<p>ながら自分の考えをまとめようとしている。</p>
<p>言葉〈日本語探検〉 敬語——宇宙人「ハテナー」がいらっしやる？</p> <p>P 51 2 時間</p>	<p>・敬語の働きや使い方について理解し、話や文章の中で使う。</p> <p>【知技】(1)カ</p>	<p>1 導入部分を読んで、さまざまな種類の敬語が話や文章の中でどのように使われているかを大まかにつかむ。</p> <p>2 解説部分を読んで、敬語の種類や使い方について理解する。適宜、漢字を確認する。</p> <p>QR「敬語のまとめ 一覧」</p>	<p>【知技】敬語の働きや使い方について理解し、話や文章の中で使っている。</p> <p>【主】進んで敬語の働きや使い方について理解し、見通しを持って、敬語を話や文章の中で使おうとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 漢字の意味</p> <p>P 54 1 時間</p>	<p>・漢字の意味を理解して、漢字を文や文章の中で使う。</p> <p>【知技】(1)ウ</p>	<p>1 問題①～④に取り組み、似た意味や反対の意味の漢字があること、複数の意味を持つ漢字があることなどを理解する。</p>	<p>【知技】漢字の意味を理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>【主】進んで漢字の意味を理解し、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
3 伝え方を工夫する (6～7 月 14 時間)			
<p>読む〈構成・展開〉 ネコだって推理できる</p> <p>P 56 4 時間</p> <p>未来科学と探究</p>	<p>・文章全体と部分との関係に注意しながら、内容を読み取る。</p> <p>・文章と図表を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する。</p> <p>【知技】(1)エ、(2)アイ 【思判表】C(1)アイウ ⑤ C(2)ア</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。</p> <p>3 「つかむ」の設問①～②に取り組み、三つの実験から文章全体の展開を読み取る。</p> <p>資「思考のヒント」(P 285)</p> <p>4 「読み深める」の設問③に取り組み、図表の役割を捉える。</p> <p>言葉の力 文章と図表</p> <p>5 「考えを持つ」の設問④に取り組み、筆者の考えについて話し合う。</p> <p>6 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習で生かしたいことを考える。</p> <p>7 「広がる言葉」に取り組み、語感を磨き語彙を増やす。</p> <p>*後の「情報の関係の表し方」と併せて学ぶとよい。</p> <p>QR「筆者の言葉（動画）」など 資「スズメは本当に減っているか」</p>	<p>【知技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【知技】考えと根拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【知技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、考えと根拠との関係などを捉えている。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。</p>

		(P264)	<p>【主】進んで文章全体と部分との関係に注意しながら内容を読み取り、学習課題に沿って、文章と図表を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈しようとしている。</p>
<p>学びを支える言葉の力 〈情報と論理の学び〉 情報の関係の表し方 P66 1時間</p>	<p>・情報と情報の関係のさまざまな表し方を理解し、情報を整理する。</p> <p>【知技】(2)イ</p>	<p>1 「考えよう」と一コマ漫画を読んで、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 「1」囲みや矢印を使って情報を整理する」を読んで、囲みや矢印を使った情報の関係の表し方について理解を深め、情報を整理する。</p> <p>【資】「思考のヒント」(P284)</p> <p>3 「2」表を使って情報を整理する」を読んで、表を使った情報の関係の表し方について理解を深め、情報を整理する。</p> <p>【資】「思考のヒント」(P284)</p> <p>*前の「ネコだって推理できる」や、後の『地域の魅力』の紹介文」と併せて学ぶとよい。</p> <p>【QR】「考えよう（動画）」など</p>	<p>【知技】情報と情報の関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p> <p>【主】進んで情報と情報の関係のさまざまな表し方を理解し、学習課題に沿って情報を整理しようとしている。</p>
<p>書く〈伝達〉 「地域の魅力」の紹介文——効果的に伝えよう P68 8時間</p> <p>【未来】学校・社会／情報社会</p>	<p>・身近な地域の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。</p> <p>・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整える。</p> <p>【知技】(1)ア、(2)イ</p> <p>【思判表】B(1)アエ</p> <p>【活】B(2)イ</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、「学習の流れ」を見て、見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～⑤に取り組み、伝えたい「地域の魅力」についての情報を集め、紹介文を書く。</p> <p>【言葉の力】材料のさまざまな集め方／推敲の仕方</p> <p>【資】「思考のヒント」(P285)／「原稿用紙の使い方・推敲の観点」(P280)</p> <p>3 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習や生活で生かしたいことを考える。</p> <p>*前の「情報の関係の表し方」と併せて学ぶとよい。</p> <p>【QR】「学習の流れ（動画）」など</p>	<p>【知技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。</p> <p>【知技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p> <p>【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、身近な地域の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>【思判表】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。</p> <p>【主】積極的に材料を集め、学習の見通しを持って、表現の効果などを確かめて文章を整えようとしている。</p>
<p>言葉〈日本語探検〉 類義語・対義語・多義語——未知の生物</p>	<p>・類義語と対義語、多義語について理解する。</p>	<p>1 導入部分を読んで、類義語と対義語、多義語が話や文章の中でどのように使われているかを大まかにつか</p>	<p>【知技】類義語と対義語、多義語について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語</p>

「ふわボン」 P 73 1 時間	【知技】(1)エ	む。 2 解説部分を読んで、類義語と対義語、多義語について理解する。	感を磨き語彙を豊かにしている。 【主】進んで類義語と対義語、多義語について理解し、見通しを持って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。
(7 月 3 時間)			
読む〈読書 1〉 インターネット・新聞の活用／鯉節——世界に誇る伝統食 P 76／P 78 3 時間 未来 伝統と文化	・読んで分かったことや調べてみたいことを話し合い、複数の情報を整理して内容を解釈する。 【知技】(3)エ 【思判表】C(1)イ ㊦ C(2)ウ	1 「インターネット・新聞の活用」(P 76)のリード文と「鯉節——世界に誇る伝統食」(P 78)のタイトル下の問いかけを確認し、学習の見通しを持つ。 2 「インターネット・新聞の活用」を読み、インターネットや新聞の活用方法について理解する。 3 「鯉節——世界に誇る伝統食」全文を通読し、鯉節について分かったことや調べてみたいことを話し合う。適宜、漢字を確認する。 4 知りたいことについて本やインターネットで情報を集め、調べたことをまとめる。 *「世界を広げる本〈日本文化〉」(P 84)で紹介されている本を活用し、読み比べたり読み広げたりしてもよい。 QR 「情報の調べ方」「筆者の言葉(動画)」など 資 「中学生におすすめの本」(P 276)	【知技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 【思判表】「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。 【主】進んで読書の意義について理解を深め、学習の見通しを持って、調べたことをまとめようとしている。
4 思いを深める (9 月 10 時間)			
読む〈文学 2〉 字のない葉書 P 88 3 時間 未来 平和・国際理解／自己と他者	・登場人物の言動の意味について考えて、作品を読み深める。 ・文章の構成や表現の効果について考える。 【知技】(1)エ 【思判表】C(1)イエ ㊦ C(2)イ	1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 「つかむ」の設問①に取り組み、筆者の思い出の内容をまとめる。 4 「読み深める」の設問②～④に取り組み、人物像や心情を読み取る。 言葉の力 人物の言動の意味 5 「考えを持つ」の設問⑤に取り組み、随筆から考えたことを話し合う。 6 「振り返る」を読み、学習を振り	【知技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。 【思判表】「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。 【主】進んで登場人物の言動の

		<p>返って、これからの学習で生かしたいことを考える。</p> <p>7 「広がる言葉」に取り組み、語感を磨き語彙を増やす。</p> <p>＊後の「人物像」と併せて学ぶとよい。</p> <p><b>QR</b>「学童疎開」など</p>	<p>意味を考え、学習課題に沿って、文章の構成や表現の効果について考えようとしている。</p>
<p>学びを支える言葉の力 〈文学の学び〉 人物像</p> <p>P 94 1 時間</p>	<p>・登場人物の言動の意味に着目して、人物像を捉える。</p> <p><b>【思判表】</b> C(1)イ</p>	<p>1 「考えよう」と一コマ漫画を読んで、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 「<b>1</b>人物の言葉や行動・態度に着目する」を読んで、詩織と奈月の言動から人物像を考える。</p> <p>3 「<b>2</b>人物像の多面性に気づく」を読んで、奈月の人物像の多面性を捉える。</p> <p>＊前の「字のない葉書」と併せて学ぶとよい。</p> <p><b>QR</b>「考えよう（動画）」など</p>	<p><b>【思判表】</b>「読むこと」において、登場人物の言動の意味に着目して、人物像を捉えている。</p> <p><b>【主】</b>進んで人物像の捉え方や多面性について理解し、学習課題に沿って人物像を捉えようとしている。</p>
<p>書く〈通信・手紙〉 依頼状とお礼状</p> <p>P 96 3 時間</p> <p><b>未来</b>学校・社会 <b>他</b>書写</p>	<p>・読み手の立場に立って、適切な表現になるように文章を整える。</p> <p><b>【知技】</b> (1)アカ <b>【思判表】</b> B(1)エ <b>活</b> B(2)イ</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～②に取り組み、職場体験の依頼状を推敲し、お礼状を書く。</p> <p><b>言葉の力</b> 手紙の推敲 <b>資</b>「手紙の書き方」(P 281)</p> <p>3 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習や生活で生かしたいことを考える。</p> <p><b>QR</b>「書写の学習」など</p>	<p><b>【知技】</b>言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。</p> <p><b>【知技】</b>敬語の働きについて理解し、文章の中で使っている。</p> <p><b>【思判表】</b>「書くこと」において、読み手の立場に立って、適切な表現になるように文章を整えている。</p> <p><b>【主】</b>進んで読み手を意識して推敲し、学習課題に沿って、依頼状やお礼状を書こうとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 熟語の構成・熟字訓</p> <p>P 98 1 時間</p>	<p>・熟語の構成や熟字訓について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p> <p><b>【知技】</b> (1)ウ</p>	<p>1 「熟語の構成」を読んで、二字熟語の構成について理解し、「問題」①～③に取り組む。</p> <p>2 「熟字訓」を読んで、熟字訓について理解し、「問題」④に取り組む。</p>	<p><b>【知技】</b>熟語の構成や熟字訓について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p><b>【主】</b>進んで熟語の構成や熟字訓について理解し、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>言葉〈文法の窓／文法解説〉 活用のある自立語 ——ばらばら動詞カ</p>	<p>・用言の活用について理解する。</p> <p><b>【知技】</b> (1)オ</p>	<p>1 教材 (P 100) を読んで、動詞を活用形によって整理する。また、「考えよう」に取り組む。</p> <p>2 「活用のある自立語」(P 230) を</p>	<p><b>【知技】</b>用言の活用について理解している。</p> <p><b>【主】</b>進んで用言の活用について理解し、学習課題に沿って</p>



<p>ードをかたづけよう P 100／P 230 2 時間</p>		<p>読んで、用言の活用形の種類や、動詞・形容詞・形容動詞それぞれの活用の仕方について理解を深める。また、「問題」<b>1</b>～<b>4</b>に取り組む。</p> <p><b>QR</b>「文法ゲーム」など</p>	<p>て、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
5 説得力を高める (9～10 月 13 時間)			
<p>読む〈吟味・判断〉 黄金の扇風機／ サハラ砂漠の茶会 P 102 5 時間</p> <p><b>未来</b>多様性／平和・国際理解</p>	<p>・観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や論理の展開、表現の工夫について考える。</p> <p>・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを深める。</p> <p>【知技】(1)エ、(2)ア 【思判表】C(1)エオ ⑤ C(2)ア</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 二つの文章の全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。</p> <p>3 「つかむ」の設問①に取り組む、二つの文章の内容を捉える。</p> <p>4 「読み深める」の設問②～③に取り組む、観点を明確にして、二つの文章を読み比べる。</p> <p><b>言葉の力</b> 文章の読み比べ</p> <p>5 「考えを持つ」の設問④に取り組む、自分の知識や経験と結び付けて、考えを書く。</p> <p>6 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習で生かしたいことを考える。</p> <p>7 「広がる言葉」に取り組む、語感を磨き語彙を増やす。</p> <p>*後の「意見と根拠の吟味」と併せて学ぶとよい。</p> <p><b>QR</b>「筆者の言葉（動画）」など</p>	<p>【知技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【知技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や論理の展開、表現の工夫について考えている。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主】進んで文章を読み比べ、学習課題に沿って、自分の知識や経験と結び付けて、考えを書こうとしている。</p>
<p>学びを支える言葉の力 〈情報と論理の学び〉 意見と根拠の吟味 P 112 1 時間</p>	<p>・意見と根拠の関係について理解し、意見と根拠を吟味する。</p> <p>【知技】(2)ア</p>	<p>1 「考えよう」と一コマ漫画を読んで、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 「<b>1</b>論証の組み立て」を読んで、意見と根拠の関係や、論証について理解を深める。</p> <p>3 「<b>2</b>意見と根拠の吟味」を読んで、意見と根拠の吟味の仕方について理解を深め、意見と根拠を吟味する。</p> <p>*前の「黄金の扇風機／サハラ砂漠の茶会」や、後の『「地図」の意見文』と併せて学ぶとよい。</p> <p><b>QR</b>「考えよう（動画）」など</p>	<p>【知技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解し、意見と根拠を吟味している。</p> <p>【主】進んで意見と根拠の関係について理解・吟味し、学習課題に沿って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>書く〈論証・説得〉 「地図」の意見文</p>	<p>・根拠の適切さについて吟味し、自分の意</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、「学習の流れ」を見て、見通</p>	<p>【知技】文章の構成や展開について理解を深めている。</p>

<p>——根拠を吟味して書こう</p> <p>P 114 6 時間</p> <p>未来 学校・社会</p>	<p>見が伝わる文章を書く。</p> <p>・分かりやすく伝わるように、文章の構成を工夫する。</p> <p>【知技】(1)オ、(2)ア 【思判表】B(1)イウ ⑤ B(2)ア</p>	<p>しを持つ。</p> <p>2 手順①～⑤に取り組み、分かりやすく説得力のある意見文の書き方を確認する。</p> <p>*手順②で、「B橋」の立場に立った場合の根拠を考え、吟味してみるのもよい。</p> <p>言葉の力 根拠の吟味／意見文の構成</p> <p>3 手順①～⑤に従って「問題」に取り組み、根拠を吟味して意見文を書く。</p> <p>4 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習や生活で生かしたいことを考える。</p> <p>*前の「意見と根拠の吟味」と併せて学ぶとよい。</p> <p>QR 「学習の流れ（動画）」など</p>	<p>【知技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【思判表】「書くこと」において、伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。</p> <p>【思判表】「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>【主】根拠を吟味したり構成を工夫したりすることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って、分かりやすく説得力のある意見文を書こうとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 同音異義語</p> <p>P 118 1 時間</p>	<p>・同音異義語について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>【知技】(1)ウエ</p>	<p>1 「共通する漢字を持つ同音異義語」を読んで、共通する漢字を持つ同音異義語について知り、「問題」①～②に取り組む。</p> <p>2 「共通する漢字を持たない同音異義語」を読んで、共通する漢字を持たない同音異義語について知り、「問題」③～④に取り組む。</p>	<p>【知技】同音異義語について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>【知技】同音異義語について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【主】進んで同音異義語について理解し、見通しを持って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
(10 月 1 時間)			
<p>読む〈詩（日本語のしらべ）〉 落葉松</p> <p>P 120 1 時間</p> <p>未来 伝統と文化</p>	<p>・詩に描かれた情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。</p> <p>【思判表】C(1)ア ⑤ C(2)イ</p>	<p>1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。</p> <p>*古語や文語文法による表現については、適宜、意味を確認する。</p> <p>2 詩に描かれた情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。</p> <p>3 「詩人と作品」（P 122）を読み、北原白秋について知る。</p> <p>QR 「作者の紹介（動画）」など</p>	<p>【思判表】「読むこと」において、詩全体と部分との関係に注意しながら、場面の設定の仕方などを捉えている。</p> <p>【主】進んで詩に描かれた情景や心情を捉え、学習課題に沿って朗読しようとしている。</p>
6 伝統文化を味わう（10～11 月 13 時間）			
<p>古典 枕草子・徒然草</p> <p>P 124</p>	<p>・作品を読むことを通して、古典に表れた筆者のものの見方や</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。</p>	<p>【知技】現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの</p>

<p>4 時間</p> <p>未来 伝統と文化 他 社会（歴史）</p>	<p>考え方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の表現の仕方について考え、表現を工夫して随筆を書く。</li> </ul> <p>【知技】(3)イ 【思判表】B(1)ウ、C(1)エ</p>	<p>かむ。適宜、漢字を確認する。</p> <p>3 「つかむ」の設問①～②に取り組み、筆者のものの見方や考え方を捉える。</p> <p>古典コラム 係り結び</p> <p>4 「読み深める」の設問③に取り組み、二つの随筆の表現の工夫を捉える。</p> <p>5 「考えを持つ」の設問④に取り組み、表現を工夫して随筆を書く。</p> <p>*「資料 ほかの章段も読んでみよう」を活用して、作品について考えを深めるのもよい。</p> <p>6 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習で生かしたいことを考える。</p> <p>QR「朗読（動画）」など 資「書き手の肖像——清少納言と兼好法師」（P270）</p>	<p>見方や考え方を理解している。</p> <p>【思判表】「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考えている。</p> <p>【主】進んで古典に表れたものの見方や考え方を捉え、学習課題に沿って、表現を工夫して随筆を書こうとしている。</p>
<p>古典 平家物語</p> <p>P 132 4 時間</p> <p>未来 伝統と文化 他 社会（歴史）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむ。</li> <li>古典に表れたものの見方や考え方を知り、自分の考えを深める。</li> </ul> <p>【知技】(3)アイ 【思判表】C(1)オ</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。</p> <p>3 「つかむ」の設問①に取り組み、表現の特徴を生かして朗読する。</p> <p>古典コラム 表現の特徴</p> <p>4 「読み深める」の設問②～③に取り組み、作品に描かれている状況や人物の心情を捉える。</p> <p>5 「考えを持つ」の設問④に取り組み、古典に表れたものの見方や考え方を知る。</p> <p>*「資料 『平家物語』と古典芸能」を読み、作品や文化の継承について考えを深めるとよい。</p> <p>6 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習で生かしたいことを考える。</p> <p>QR「朗読（動画）」など</p>	<p>【知技】作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。</p> <p>【知技】現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を理解している。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主】進んで朗読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って、古典に表れたものの見方や考え方について自分の考えをまとめている。</p>
<p>古典 漢詩</p> <p>P 146 3 時間</p> <p>未来 伝統と文化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢詩の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむ。</li> <li>漢詩の表現の効果について考える。</li> </ul>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。</p> <p>3 「つかむ」の設問①に取り組み、表現の特徴に注意して朗読する。</p>	<p>【知技】作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成</p>

	<p>【知技】(3)ア 【思判表】C(1)エ</p>	<p>4 「読み深める」の設問②～③に取り組み、表現の特徴とその効果を捉える。</p> <p>【古典コラム】 漢詩の形式</p> <p>5 「考えを持つ」の設問④に取り組み、漢詩を鑑賞する。</p> <p>*「資料 漢詩を楽しむ」を読み、作品や文化の継承について考えを深めるとよい。</p> <p>6 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習で生かしたいことを考える。</p> <p>【QR】「朗読（動画）」など 【資】「望郷の詩——杜甫と李白」（P 273）</p>	<p>や表現の効果について考えている。</p> <p>【主】進んで朗読して漢詩に親しみ、学習課題に沿って、漢詩の表現の効果について話し合おうとしている。</p>
<p>言葉〈日本語探検〉 話し言葉と書き言葉 ——おしゃべり星人 とふでまめ星人</p> <p>P 152 1 時間</p>	<p>・話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。</p> <p>【知技】(1)イ</p>	<p>1 導入部分を読んで、話し言葉と書き言葉の違いや、それぞれの特徴が話や文章の中でどのように表れているかを大まかにつかむ。</p> <p>2 解説部分を読んで、話し言葉と書き言葉の違いや、それぞれの特徴について理解する。適宜、漢字を確認する。</p>	<p>【知技】話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。</p> <p>【主】進んで話し言葉と書き言葉の特徴について理解し、見通しを持って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 紛らわしい漢字</p> <p>P 154 1 時間</p>	<p>・形や音の似た、紛らわしい漢字に注意して、漢字を文や文章の中で使う。</p> <p>【知技】(1)ウ</p>	<p>1 問題①～③に取り組み、形の似た漢字があること、なかには音も似た漢字があることなどを理解する。</p>	<p>【知技】形や音の似た、紛らわしい漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>【主】進んで紛らわしい漢字について理解し、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
7 表現を考える（11～12月 13時間）			
<p>読む〈言葉とメディア〉 「正しい」言葉は信じられるか</p> <p>P 156 5 時間</p> <p>【未来】情報社会</p>	<p>・文章を比較して、文章の構成や表現の効果について考える。</p> <p>・構成や表現を工夫して、記事を書き換える。</p> <p>【知技】(1)エ、(2)ア 【思判表】B(1)イウ、C(1)エ ④ C(2)ア</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。</p> <p>3 「つかむ」の設問①に取り組み、異なる印象を与える構成や表現の効果捉える。</p> <p>4 「読み深める」の設問②～③に取り組み、ニュースを読み比べたり、記事を書き換えたりする。</p> <p>【言葉の力】異なる印象を与える構成と表現</p>	<p>【知技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【知技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【思判表】「書くこと」において、伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章</p>

		<p>5 「考えを持つ」の設問④に取り組 み、表現の仕方による印象の違いに ついて考える。</p> <p>6 「振り返る」を読み、学習を振り 返って、これからの学習で生かした いことを考える。</p> <p>*後の「具体と抽象」と併せて学ぶと よい。</p> <p><b>QR</b>「筆者の言葉（動画）」など</p>	<p>の構成や展開を工夫している。</p> <p><b>【思判表】</b>「書くこと」におい て、表現の効果を考えて、自 分の考えが伝わる文章になる ように工夫している。</p> <p><b>【思判表】</b>「読むこと」におい て、観点を明確にして文章を 比較し、文章の構成や表現の 効果について考えている。</p> <p><b>【主】</b>進んで構成や表現を工夫 して記事を書き換え、学習課 題に沿って、文章の構成や表 現の効果について考えようと している。</p>
<p>学びを支える言葉の力 〈情報と論理の学び〉 具体と抽象</p> <p>P 166 1 時間</p>	<p>・具体と抽象の関係に ついて理解する。</p> <p><b>【知技】</b>(2)ア</p>	<p>1 「考えよう」と一コマ漫画を読ん で、学習の見通しを持つ。</p> <p>2 「<b>1</b>具体と抽象の関係」を読ん で、具体と抽象の関係について理解 を深める。</p> <p>3 「<b>2</b>具体的な表現と抽象的な表 現」を読んで、具体的な表現と抽象 的な表現の関係について理解を深め る。</p> <p>*前の「『正しい』言葉は信じられる か」や、後の「プレゼンテーショ ン」と併せて学ぶとよい。</p> <p><b>QR</b>「考えよう（動画）」など</p>	<p><b>【知技】</b>具体と抽象など情報と 情報との関係について理解し ている。</p> <p><b>【主】</b>進んで具体と抽象の関係 について理解し、学習課題に 沿って、学んだことを話や文 章の中で生かそうとしている。</p>
<p>話す・聞く〈話す〉 プレゼンテーション ——説得力のある提 案をしよう</p> <p>P 168 6 時間</p> <p><b>未来</b>多様性／学校・社 会／情報社会</p>	<p>・自分の考えを明確に して、説得力のある 話の構成を考える。</p> <p>・資料や機器を活用し て、分かりやすく伝 わるように表現を工 夫する。</p> <p><b>【知技】</b>(1)アオ、(2)ア イ</p> <p><b>【思判表】</b>A(1)イウ (2)ア</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確 認し、「学習の流れ」を見て、見通 しを持つ。</p> <p>2 手順①～⑤に取り組み、提案を決 めてプレゼンテーションをする。</p> <p><b>言葉の力</b> 説得力のある話の構成／資 料や機器の活用</p> <p><b>資</b>「思考のヒント」(P284)</p> <p>3 「振り返る」を読み、学習を振り 返って、これからの学習や生活で生 かしたいことを考える。</p> <p>*前の「具体と抽象」と併せて学ぶと よい。</p> <p><b>QR</b>「プレゼンテーションの例（動 画）」など</p>	<p><b>【知技】</b>言葉には、相手の行動 を促す働きがあることに気づ いている。</p> <p><b>【知技】</b>話の構成や展開につい て理解を深めている。</p> <p><b>【知技】</b>考えと根拠、具体と抽 象など情報と情報との関係に ついて理解している。</p> <p><b>【知技】</b>情報と情報との関係の さまざまな表し方を理解し使 っている。</p> <p><b>【思判表】</b>「話すこと・聞くこ と」において、自分の立場や 考えが明確になるように、根 拠の適切さや論理の展開など に注意して、話の構成を工夫 している。</p> <p><b>【思判表】</b>「話すこと・聞くこ</p>

			と」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 【主】説得力のある話の構成を考えることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って、資料や機器を活用したプレゼンテーションをしようとしている。
言葉〈漢字道場〉 他教科で学ぶ漢字(1) P 173 1 時間  【他】社会・数学・理科・ 技術・家庭・保健体 育	・他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。  【知技】(1)ウ	1 問題に取り組み、社会・数学・理科・技術・家庭・保健体育で学ぶ語句に用いられる漢字を確認する。 *他教科の教科書を適宜参照し、その漢字が含まれる語句を学ぶ時期や、その漢字が使われている文脈を確認するのもよい。	【知技】他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 【主】進んで他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。
(12 月 2 時間)			
読む〈読書 2〉 メディアの垣根を越えて／ビブリオバトル  P 174／P 182 2 時間  【未来】情報社会	・さまざまな種類の本やメディア作品に触れ、読書が自分の考えを広げたり深めたりすることを理解する。  【知技】(3)エ 【思判表】C(1)オ ⑤ C(2)イ	1 「メディアの垣根を越えて」(P 174) と「ビブリオバトル」(P 182) のリード文を読み、学習の見通しを持つ。 2 小説、映画、漫画など、各メディアに展開された作品を比べて読み、分かったことや考えたことを話し合う。 3 ビブリオバトルを行い、おすすめの本を紹介し合う。 *これまでに読んだ本や、「世界を広げる本〈ほかのメディアへ〉」(P 180) で紹介されている本を活用してもよい。  【資】「中学生におすすめの本」(P 276)	【知技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで読書の意義について理解を深め、学習の見通しを持って、自分のおすすめの本の魅力を伝えようとしている。
8 描写を味わう (1～2 月 22 時間)			
読む〈文学 3〉 走れメロス  P 184 6 時間  【未来】自己と他者	・登場人物の言動の意味について考えて、作品を読み深める。 ・場面の展開や表現の効果について考える。  【知技】(1)エ 【思判表】C(1)イエ	1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、学習の見通しを持つ。 2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字や語句を確認する。 3 「つかむ」の設問①に取り組み、作品の設定と人物像を捉える。 4 「読み深める」の設問②～④に取り組み、場面の展開や表現の効果に	【知技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈

	<p>㊦ C(2)イ</p>	<p>について考える。</p> <p><b>言葉の力</b> 人物像の変化</p> <p>5 「考えを持つ」の設問⑤に取り組み、メロスの行動について話し合う。</p> <p>6 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習で生かしたいことを考える。</p> <p>7 「広がる言葉」に取り組み、語感を磨き語彙を増やす。</p> <p><b>QR</b>「作者の紹介（動画）」など</p>	<p>している。</p> <p><b>【思判表】</b>「読むこと」において、場面の展開や表現の効果について考えている。</p> <p><b>【主】</b>進んで登場人物の言動の意味などについて考えながら作品を読み深め、学習課題に沿って、場面の展開や表現の効果について話し合おうとしている。</p>
<p>書く〈感性・想像〉</p> <p>短歌から始まる物語——いきいきと描き出そう</p> <p>P202 7時間</p> <p><b>未来</b>伝統と文化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の効果を考えて描写し、想像した場面が伝わるように工夫して書く。</li> <li>・表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、文章のよい点や改善点を見いだす。</li> </ul> <p><b>【知技】</b>(1)エ</p> <p><b>【思判表】</b>B(1)ウオ</p> <p>㊦ B(2)ウ</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、「学習の流れ」を見て、見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～④に取り組み、短歌から想像を膨らませて物語を創作する。</p> <p><b>言葉の力</b> 豊かな描写／物語創作の感想交換</p> <p>*創作の材料として、短歌以外に、俳句、写真、絵画などを用いてもよい。</p> <p>3 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習や生活で生かしたいことを考える。</p> <p><b>QR</b>「学習の流れ（動画）」など</p>	<p><b>【知技】</b>抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p><b>【思判表】</b>「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、想像した場面が伝わるように工夫している。</p> <p><b>【思判表】</b>「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</p> <p><b>【主】</b>描写を工夫したり、読み手の助言を踏まえて改善点を見いだしたりすることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って物語を書こうとしている。</p>
<p>話す・聞く〈話し合う〉</p> <p>リンクマップによる話し合い——話し合いで問題を検討しよう</p> <p>P207 6時間</p> <p><b>未来</b>学校・社会／安全・防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活の中から話題を決め、多様な立場や意見を想定し、集めた材料を整理する。</li> <li>・互いの立場や意見を尊重しながら話し合い、結論を出す。</li> </ul> <p><b>【知技】</b>(2)アイ</p> <p><b>【思判表】</b>A(1)アオ</p> <p>㊦ A(2)イ</p>	<p>1 「見通す」の問いかけと目標を確認し、「学習の流れ」を見て、見通しを持つ。</p> <p>2 手順①～③に取り組み、テーマを決め、リンクマップを使って話し合い、グループの意見をまとめて発表する。</p> <p><b>言葉の力</b> 材料の収集と検討／互いの立場や意見の尊重</p> <p>3 「振り返る」を読み、学習を振り返って、これからの学習や生活で生かしたいことを考える。</p> <p><b>QR</b>「話し合いの例（動画）」など</p>	<p><b>【知技】</b>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p> <p><b>【知技】</b>情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。</p> <p><b>【思判表】</b>「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</p> <p><b>【思判表】</b>「話すこと・聞くこ</p>



			と」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。 【主】進んで多様な立場や意見を想定して材料を整理し、学習の見通しを持って、互いの立場や意見を尊重しながら話し合っ、結論を出そうとしている。
言葉〈文法の窓／文法解説〉 助詞・助動詞——絵に合う助詞・助動詞を探そう P 212／P 234 2 時間	・助詞や助動詞の働きについて理解する。 【知技】(1)オ	1 教材（P 212）を読んで、示されたイラストと助詞・助動詞の組み合わせを考える。また、「考えよう」に取り組む。 2 「助詞」（P 234）を読んで、助詞の種類や意味について理解を深める。また、「問題」①～②に取り組む。 3 「助動詞」（P 235）を読んで、助動詞の種類や意味について理解を深める。また、「問題」①～③に取り組む。 QR「文法ゲーム」など	【知技】助詞や助動詞の働きについて理解している。 【主】進んで助詞や助動詞の働きについて理解し、学習課題に沿って、学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。
言葉〈漢字道場〉 他教科で学ぶ漢字(2) P 213 1 時間 他社会・理科・技術・家庭・保健体育	・他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。 【知技】(1)ウ	1 問題に取り組み、社会・理科・技術・家庭・保健体育で学ぶ語句に用いられる漢字を確認する。 *他教科の教科書を適宜参照し、その漢字が含まれる語句を学ぶ時期や、その漢字が使われている文脈を確認するのもよい。	【知技】他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 【主】進んで他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。
(2 月 2 時間)			
読む〈詩（詩の言葉）〉 わたしが一番きれいだったとき P 214 2 時間 未来平和・国際理解	・人物の心情に注意して、詩に込められた思いを考える。 ・自分の知識や経験と結び付けながら、感想や考えを深める。 【思判表】C(1)イオ ⑤ C(2)イ	1 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。 2 それぞれの連の言葉にどんな心情が表されているかを捉える。また、各連で繰り返される「わたしが一番きれいだったとき」という言葉に込められた思いを考える。 3 この詩に表れているものの見方や考え方について、自分の知識や経験と結び付けながら感想や考えを話し合う。	【思判表】「読むこと」において、人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。 【思判表】「読むこと」において、詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで詩に込められた思いについて考え、学習課題に沿って感想や考えを話し合お



			うとしている。
(3月 3時間)			
未来への扉 地球環境と人間社会 P216 3時間(「読む」2時間、「話す・聞く」／「書く」いずれか1時間) 未来地球環境 他社会(公民)・理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(「話す・聞く」を選択した場合)自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。</li> <li>・(「書く」を選択した場合)根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えたりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。</li> <li>・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。</li> </ul> <p>【知技】(2)ア          【思判表】A(1)イ／B(1)ウ、C(1)オ          ④ A(2)ア／B(2)ア、C(2)ア</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教材冒頭と「見通す」の問いかけを確認し、学習の見通しを持つ。</li> <li>2 全文を通読し、内容を大まかにつかむ。適宜、漢字を確認する。</li> <li>3 設問①～②に取り組み、二つの文章の筆者の考えをまとめる。</li> <li>4 (「話す・聞く」を選択した場合)設問③に取り組み、地球環境と人間社会について短いプレゼンテーションをする。(「書く」を選択した場合)設問③に取り組み、地球環境と人間社会について意見文を書く。</li> <li>5 学習を振り返るとともに、「未来を考えるための九つのテーマ」を振り返る。</li> </ol> <p>*「未来を考える本」(P224)で紹介されている本を活用し、「未来を考えるための九つのテーマ」について理解を深めるのもよい。</p> <p>QR「筆者の言葉(動画)」など</p>	<p>【知技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【思判表】(「話す・聞く」を選択した場合)「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(「書く」を選択した場合)「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えたりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【主】進んで地球環境や人間社会について理解し、これまでの学習を生かして、自分の考えを伝えようとしている。</p>
(3月 1時間)			
言葉〈漢字道場〉 小学校6年の漢字 〈学習〉 P242 1時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校6年の漢字を書き、文や文章の中で使う。</li> </ul> <p>【知技】(1)ウ</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 小学校6年の漢字を書く。</li> </ol> <p>QR「小学校6年の漢字」</p>	<p>【知技】小学校6年の漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>【主】進んで小学校6年の漢字を書き、学習課題に沿って、学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>